

法人会の理念



法人会は税のオピニオンリーダーとして

企業の発展を支援し

地域の振興に寄与し

国と社会の繁栄に貢献する

経営者の団体である

目次

納税表彰／e-Tax利用	1
みどりのカーテン事業「ゴーヤ写真コンテスト」	2・3
第2回法人学校	4
第19回全国女性フォーラム（北海道大会）	5
20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーン	6
第28回チャリティーゴルフ大会	7
第39回法人会全国青年の集い（山梨大会）	8
第41回法人会全国大会（高知大会）	9
令和7年度 市民公開講演会	10
令和8年度 税制改正に関する提言活動	11
法人会自主点検チェックシート新設法人編一	12
令和7年度 吉賀支部・津和野支部巡回連絡協議会開催	13
津和野支部・吉賀支部 清掃活動	14
ますだ産業祭／キャッシュレス納付	15
秋の植栽／消費税納付を忘れずに！	16
ちょっと！ブレイク「必ずある潜在需要を掘り起こせ」海部隆太郎氏	17
税に関する「絵はがき」「習字」コンクール表彰式	18・19
自由広場インタビュー（T-ALLROUND PROJECT（同））	20
自由広場インタビュー（（一社）MASUDAカグラボ）	21
中国税理士会益田支部からのお知らせ	22

表紙紹介

■はまぐり（鴨島はまぐり）

川の清らかな透き通った水と河口で交差する美しい日本海の荒波の中で自然に生育した「はまぐり」は大きく、身はプリッとしている。日本でも島根県益田市は数少ないはまぐりの産地。この益田産のはまぐりを「鴨島はまぐり（体長7.0cm以上）」と名付けている。

■鮎（あゆ）

鮎がいる高津川は、全国で唯一ダムのない一級河川。高い水質を誇り、清流日本一に輝いている。そこで育った鮎は、香り・味ともに最高で高い評価を得ている。

■ゆず

昭和50年代から益田市美都町内で栽培。今ではゆずの里「美都」として知られるようになった。加工品は40種類以上あり全国で販売。地元にある温泉「湯元館」では季節限定で「ゆず湯」をしている。また、近くの国道191号線沿いにある道の駅「サハレ美都」では爽やかなジュース「ゆずっこ」や「ゆずらーめん」等の加工品が販売されている。

■とまと

豊富な太陽光と日本海の潮風を受け、「安心」「安全」「甘さたっぷり」のおいしいトマト。4月下旬から12月中旬頃まで栽培。県下一の生産量を誇っている。

裏表紙紹介

■鷲原八幡宮

鎌倉鶴ヶ岡八幡宮を勧請して建立され600年の歴史があります。社殿は桃山時代に建てられた神社社殿建築で工法や形式、配置など地方特有の特徴を残すことから国指定重要文化財に指定されています。また、桜、楓の名所として親しまれ、境内には日本で唯一原型を残す流鏝馬馬場があります。

■雄滝・雌滝

『夫婦円満、縁結びにまつわる言い伝えが残る滝。勇壮な三段の雄滝と、それとは対照的に優美な雌滝があります。夏でも清涼感を感じることができます。また途中には、津和野藩主第十一代の亀井茲監（これみ）という殿様とその奥方様がこの滝を観に行く途中に必ず喉を潤し持ち帰ったという 殿様水 が今でも滾々と湧き出ています。』

■大野原運動交流広場

高津川沿いに広がるスポーツ施設で、緑と澄み切った大気につつまれた広大な敷地の中に、テニスコート、ゲートボール場（人工芝、夜間照明施設付き）、ゴルフ練習場（16打席、夜間照明施設付き）、多目的グラウンド、親水広場などが整備され、町民や周辺の人々のスポーツや健康づくりの場として親しまれています。

■カタクリの里

カタクリはユリ科の多年生草本で、県道を深谷大橋に向かう途中の樋口地区の民家の裏山に自生し、3月下旬から4月上旬にかけて、陽の光を受けると薄紫やピンクの花を咲かせます。毎年3月下旬から4月初旬にかけて、「かたくり祭り」が開催されます。

■比礼振山（権現山）より益田市街を望む

比礼振山は、北仙道地区に位置し馬の鞍の形をした山（標高358.8メートルです。山の南側は急激な稜線が益田川に落ち込んでおり北麓は低い丘を従えて複雑な地形を作っています。権現山（ごんげんさん）とも呼ばれています。山頂からは益田市街地や日本海、萩・石見空港等が眺めることができ、絶景です。

おめでとうございます！！

《令和7年度 広島国税局長納税表彰》



令和7年10月29日 安野 伸路氏（前常任理事）は、ホテルグランヴィア広島において令和7年度広島国税局長納税表彰を受賞しました。表彰は、法人会の活動、租税教育、税務広報の推進を通じて、常に率先して申告納税制度の普及発展及び税知識の普及に努め納税道義の高揚による功績により受彰されました。益々のご活躍を祈念致します。

《令和7年度 納税表彰》

令和7年11月14日 令和7年度納税表彰が益田税務署長室において行われました。表彰は、法人会の活動を通じて申告納税制度の普及に尽力され、納税道義の高揚や租税教育の推進に多大なる貢献をされた功績により、岡 賢一 益田税務署長より表彰状が授与されました。益々のご活躍を祈念致します。

【益田税務署長 表彰】

【益田税務署長 感謝状】



阿知波 伸二郎 氏（理事）



吉田 拓也 氏（常任理事）



田原 央 氏（理事）

「e-Tax」なら国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きがインターネットで行えます。

電子申告で効率UP!

e-Tax

納税には
ダイレクト納付が
便利です!

e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした税務官の窓口から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

※e-Taxを利用するには、税務官の承認が必要となります。
※e-Taxを利用するには、オンライン申告の届出が必要です。詳細は、税務官の窓口またはe-Taxのヘルプをご覧ください。

所得税など個人の確定申告書を作成される方へ

ー確定申告は自宅から
マイナンバーカードでe-Taxー

国税庁が「確定申告書作成コーナー」を利用すれば、スマートフォンやパソコンで申告書を作成することができます。作成した申告書は、マイナンバーカードとマイナンバーカード読取対応スマートフォン（又は、ICカードリーダライタ）を準備すれば、スマートフォン（又は、専用のパソコン）からe-Taxで提出できます。

さらに、マイナンバーカードと連携することで、給与所得や雑所得等のデータが自動入力でき、申告書の作成がさらに便利になります。

※マイナンバーカードが有効期限切れの場合は、有効期限切れの通知が送付されます。

マイナンバーカード

マイナンバーカードと連携の必要な方へ

e-Taxを利用して所得税及び復興特別所得税の申告をするときにこんなメリットが!

① 納付書類の
提出省略

② 納付が
スピーディー

※e-Taxを利用する場合は、e-Taxのヘルプをご覧ください。

法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

さらに詳しく知りたい方へ
e-Taxの使い方

1

「みどりのカーテン」事業 ～ゴーヤ写真コンテスト開催～

社会貢献活動「みどりのカーテン」事業は今年で17年目を迎えました。今回は約140の事業所・個人の方々にゴーヤ苗を配布し、写真コンテストへは64社（個人を含む。）のご応募を頂きました。応募作品は、各事業所・個人の皆様が小さな苗の段階から大切に育てた素晴らしいゴーヤカーテンの作品が多数寄せられました。

応募作品の選考は、益田税務署のご協力を得て益田法人会 会長賞、最優秀賞、優秀賞、社会貢献委員会賞を選考しました。選考結果は、以下のとおりです。猛暑が続く近年、主旨にご賛同頂いた多くの事業所・個人の皆様のお陰で本年も無事にゴーヤ写真コンテストが開催できましたこと心より感謝申し上げます。また、ご協力を頂いた関係各位にお礼を申し上げます。作品は、益田市役所 1 階ロビーにおいて、9 月29日～10月10日までの間、展示会を行い多くの市民の皆様に見て頂くことでエコ活動の輪を広げていきたいと思ひます。

【入 賞】

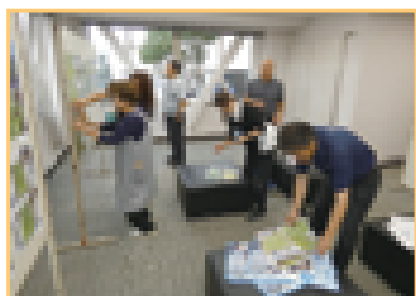
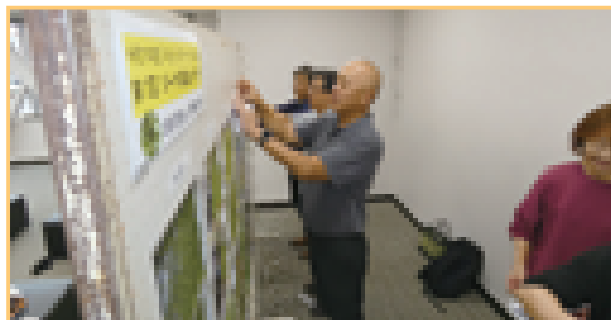
（敬称略・順不同）

- ① 会 長 賞 豊田賀嗣
- ② 最 優 秀 賞 ㈱翠祥堂 島根店、大畑美弥子、松ヶ岡病院 正光会ディケアにじいろ
- ③ 優 秀 賞 ㈱ホームコア島根営業所、平川工業(有)、田原資材㈱、寺戸工業㈱、川崎審爾、
㈱昭和測量設計事務所、㈱和崎自動車、(有)いまみや電器、ソコロシステムズ㈱、
大石宏幸
- ④ 社会貢献賞 やまねお出かけ介護タクシー、珈樹、㈱Y O I K Oホールディングス

【参加賞】

ホンダカーズ石見 日原店、岩本和香江、藤井弥生、村上かよこ、川本信明、和田恵美、増野幸枝、島田重満、福原民枝、朱山酒店、石見空港ターミナルビル㈱、福原道夫、波田一美、松永唯雄、原 妙子、野村幸子、斎藤弘子(日本生命)、齋藤眞弓(日本生命)、野間美智恵(日本生命)、大石輝介(日本生命)、㈱益田重機運輸、山陰パナソニックビルド益田営業所、特別養護老人ホーム 星の里、税理士法人 竹内会計、(有)羽柴商事、大谷理容所、アルソアおおたに、(有)河内建機、橋本源次郎、雪舟焼窯元、㈱森本建設、㈱ヤマハ環境開発、小規模多機能ホーム すみよし、大建コンサルタント㈱、山陰オート供給㈱、㈱メイワ、澤江 健、青木久江、ひとまるビジョン益田ケーブルテレビ、藤井幸子、レフティーズ・レザークラフト、明星保育園、稲田 恵(日本生命)、村上由加里(日本生命)、永戸かおり(日本生命)、㈱丸田、㈱クイックハート

ゴーヤ写真展示の様子



会長賞 豊田 賀嗣



最優秀賞 株翠祥堂 島根店



大畑 美弥子



松が丘病院 正光会
ディケアにじいろ



優秀賞 株ホームコア島根営業所



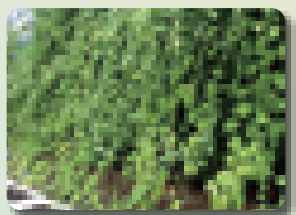
平川工業(有)



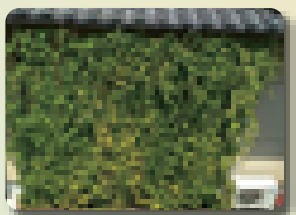
田原資材株



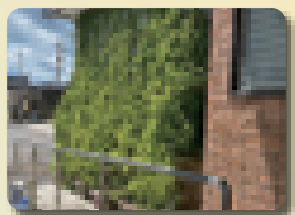
寺戸工業株



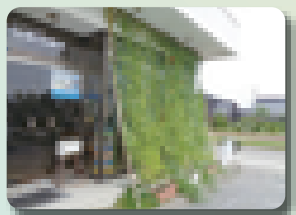
川崎 審爾



株昭和測量設計事務所



株和崎自動車



(有)いまみや電器



ソコロシステムズ株



大石 宏幸



社会貢献賞 やまねお出かけ介護タクシー



珈樹



株YOIKO
ホールディングス



第2回 法人学校開校

9月12日(金)益田商工会議所3階大会議室において令和7年度第2回法人学校を開校しました。

第2回目は、益田税務署 署長 岡 賢一氏をお迎えし、「税務行政の現状とこれから」について以下の内容で講演をいただきました。

【税務行政の現状】

◆ 「国税庁の組織理念」と「税務行政の運営の考え方」

国税組織を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、令和3年4月に新たな「国税庁の組織理念」が制定された。

国税庁の「使命」は、納税者の自発的な納税義務の履行を、適正かつ円滑に実現すること。それを果たすため遂行すべき「任務」の一つに、内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現がある。

税務行政が複雑・困難化する中で、国税庁の使命と任務を的確に果たすためには、「適正な申告等の確保」と「不適切な申告等の是正」を2つの柱とし、デジタル技術を活用しつつ、納税者のコンプライアンスリスクを踏まえた、効率的・効果的な事務運営を行うことが重要だと説明された。

◆ 「法人税・法人消費税の調査実績」と「重点的に取り組んでいる事項」

近年の法人税等の実地調査の状況や不正発見の多い業種とともに、消費税不正還付や海外取引に係る調査事例が紹介された。

その中で消費税不正還付問題に対しては、申告、行政指導、調査、徴収の各段階に応じて適切な対応が行えるよう、関係部署が連携して、還付申請書の厳格な調査を行うほか、悪質な手法等に着目した積極的な調査を行うなど、組織を挙げて取り組んでいると説明された。

【税務行政のこれから】

◆ 税務行政のDX

税務手続きのデジタル化や業務におけるデータの活用など税務行政のDXにより「適正・公正な課税・徴収の実現」に加え、事業者の業務のデジタル化を促進することで「社会全体のDX推進」に貢献すると説明された。

① 納税者の利便性向上（“納税者目線”の徹底）

税務手続きのデジタル化によってスマホなど日常使い慣れたツールから場所や時間の制約を受けずに申告・納税、申請、相談等ができる環境を整えることにより、「あらゆる税務手続きが税務署に行かずにできる社会」の実現に向けて取り組んでいる。

② 国税におけるAI・データ分析の活用

申告内容のリスク分析や事務処理の効率化などAI（統計分析等）を用いることでデジタル化を進め、適正な課税と事務の効率化を両立させることにより、特に必要性の高い分野や、悪質な事案等に事務量を振り向け、組織としてのパフォーマンスの最大化に取り組んでいる。

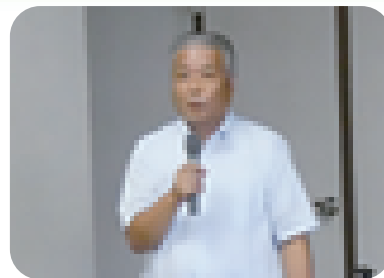
③ 事業者のデジタル化促進

税務行政のデジタル化と併せて事業者のデジタル化を促進することで、経済取引のデジタル化により事務処理の一貫したデジタル化が可能となり、正確性の向上や生産性の向上といったメリットが期待できる。電子帳簿保存法への対応を含め、事業者がデジタルデータを活用しやすい環境整備を進めるため、クラウド会計ソフト、デジタルインボイスの導入（小規模事業者の場合で最大80%の補助あり）について紹介された。

◆ オンライン利用率の向上

「個人申告におけるスマホ等による自身でのe-Tax」と「法人申告における添付書類を含めたALL e-Tax」については順調に伸びており、引き続き目標高く取り組んでいくと説明された。

一方で、ダイレクト納付やインターネットバンキングによる納付など「キャッシュレス納付」の利用は遅れている。現金による納付は、納付する方や受付窓口となる銀行など、関わる全ての人にコストが発生しているため、金融機関とも連携してキャッシュレス納付を強力に推進している。納税証明書のオンライン請求を含め、職員を出張させてセットアップや操作説明を行っているので、是非、利用してほしいと呼びかけられた。



第19回 法人会全国女性フォーラム「北海道大会」

9月18日(木)に法人会全国女性フォーラムが北海道札幌市で開催されました。

自然と女性の活力で笑顔いっぱい北海道～明日をつなごう！未来につなごう！というキャッチフレーズのもと約1600人の法人会女性部会員が参加し、益田法人会からは加藤、田中、高橋の3名で参加しました。北海道で女性フォーラムが開催されるのは第1回目以来今回が2回目だそうです。

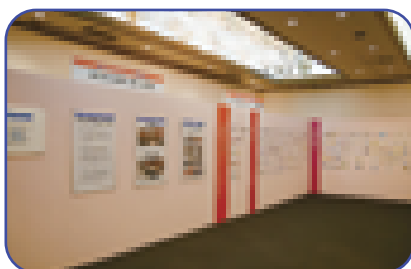
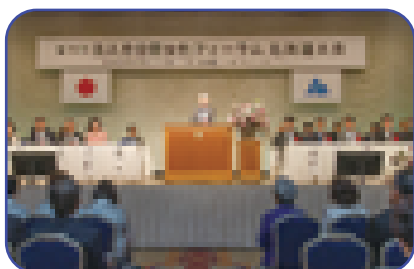
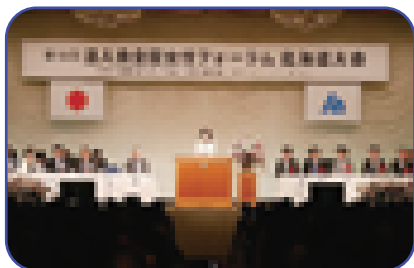
最初に大泉洋氏らの所属事務所を経営され、映画「しあわせのパン」などの製作も手掛けられた株式会社クリエイティブオフィスキューの代表取締役・プロデューサーの伊藤亜由美氏が「ストーリーあるプロデュース～北海道における人づくり・モノづくり・地域づくり～」という演題で、北海道の魅力と可能性を大切に本当に心が動くものを生み出すエンターテインメント事業、北海道の食材を使ったパンや麺のお店の事業展開、さらには映画製作についてのご経験を講演されました。伊藤氏が発信される作品はとても心に響くものがあり、また食品についても北海道の材料の良さを活かして作られるこだわりのある商品で私はその作品や商品に魅力を感じましたし、大変参考になりました。

その後、二会場に分かれて行われた式典では全法連女性部会連絡協議会の村上康恵会長から、「税に関する絵はがきコンクール」がほぼすべての会が実施する女性部会の活動の大きな柱の一つになったこと、毎年約25万人の子どもたちが租税教育で学んでいること、令和4年度より開始した「食品ロス」削減の取り組みについても活動の輪が広がっていることで社会や地域の発展・活性化に今まで以上に寄与していくことの大切さを理解して今後の活動に役立ててほしいというご挨拶がありました。また懇親会は今回立食で、島根県の会員の方との親睦を深めることができました。

この度は女性フォーラムの前に開催される全法連女性部会連絡協議会「情報交換会」にも参加させていただきましたが、「女性部会員を増やすためには」、「女性部会としての食品ロス削減の取組状況」というテーマでグループディスカッションが行われました。全国の女性部会がそれぞれの地区でどのような取組をされているか様々なお話を聞くことができ大変参考になり、益田法人会でも活かしていきたいと思いました。

この度このような機会をいただきましたことに感謝し、益田法人会女性部会が魅力的な会になるよう引き続き皆様と取り組んでいきたいと思ひます。

女性部会 部会長 高橋 京子



20歳未満者の飲酒・喫煙防止キャンペーン ～ 津和野・吉賀高等学校で取組 ～

本事業は明日を担う青少年が健全に育成される社会環境を作ることを目的とし、ポケットティッシュを配布して「①20歳未満の者の飲酒喫煙は法律で禁止されていること」「②酒・たばこ販売店においては、年齢確認を実施していること」について再認識して頂ければと思っています。

20歳未満の飲酒・喫煙は、大人をはじめ社会全体の規範意識の低下が大きな影響を与えているものと考えられます。こうした中、私たち地域社会に貢献する団体として、関係省庁及び関係民間団体の協力の下、地域の方々と一体となって啓発活動を実践することが必要ではないかと考え取り組んでいる事業です。

9月26日、津和野高校及び吉賀高校の校門前においてキャンペーン活動を行い登校する生徒に「飲酒・喫煙キャンペーン中」ですと声掛けをしながら啓発チラシの入ったポケットティッシュを手渡しました。

学校と各団体等の協力により、本キャンペーンの目的とする青少年の健全な育成に資する啓発活動が実施できたことに感謝申し上げます。

協力団体等：広島国税局・松江税務署、益田税務署、津和野町、吉賀町、津和野警察署、
出雲小売酒販組合、出雲たばこ販売協同組合、学校関係者の皆様

【吉賀高等学校】



【津和野高等学校】



第28回チャリティーゴルフ大会開催

9月20日萩・石見カントリー倶楽部において第28回チャリティーゴルフ大会を行いました。当日は、曇天、時々雷が！絶好のゴルフ日和となりませんでしたが総勢52組200名が参加し、腕前を存分に発揮するとともに会員相互の親睦を深めることができました。

本大会の開催に際しては、大同生命保険㈱山陰支社様、A I G損害保険㈱山陰支店様、アフラック生命保険㈱島根支社様、㈱メイワ様の協賛を頂きました。また、チャリティーホールでは、アフラック生命保険㈱様のご協力を得て「がんの子供を守る会のアフラックペアレンツハウス」基金へ寄付させて頂きました。寄付を頂いた皆様の温かい気持ちに感謝いたします。

本大会の開催にご協力を頂いた関係各位に感謝申し上げますとともに計画から実施までを担当した実行委員の皆様大変ありがとうございました。



【成 績】

優勝	花本 貴将	B G賞	原 孝雄
2位	大畑 雅司	〈レディース〉	
3位	高橋 健一	1位	熊谷 京子
4位	原 孝雄	2位	吉田 佳子
5位	高杉 涼二	3位	佐々木 知子



津和野町社会福祉施設協議会へ募金

10月20日ゴルフ大会参加費の一部を歳末たすけあいにて在宅高齢者・障害者へのお見舞金の一部として津和野町社会福祉協議会（会長 内谷 澄男氏）へ贈呈しました。



第39回法人会全国青年の集い「山梨大会」

11月20、21日の二日間にわたり開催された全国青年の集い山梨大会に、益田法人会から私を含む出雲副部長、田城理事、亀地部会員、山本部会員の5名で参加しました。今年度の大会は、山梨県の豊かな自然と歴史を背景に、全国の青年部会員が一堂に会し、学びと交流を深める貴重な機会となりました。

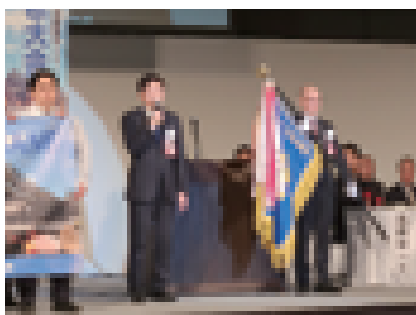
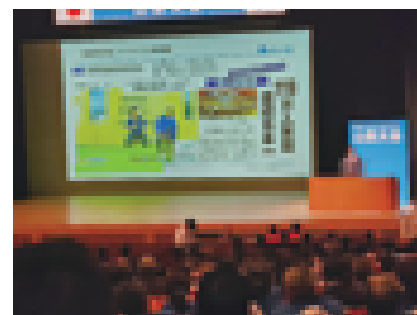
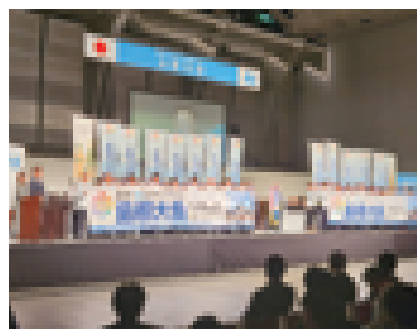
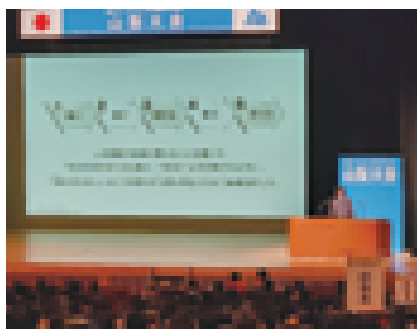
今回の参加には、もう一つ重要な目的がありました。それは、来年度に控える全国青年の集い島根大会のPR活動です。今年度の山梨大会には島根県連として約60名が参加し、会場内外で積極的に島根大会の魅力を発信しました。特に、記念式典および大懇親会ではステージ上でPRを行う貴重な機会をいただき、全国から集まった多くの参加者の前で直接アピールすることができました。その際には、「島根に行くのを楽しみにしている」「観光も兼ねて参加したい」といった声も多数いただき、島根大会への関心の高まりを強く実感することができました。

山梨大会は、全体を通して引き締まった雰囲気と明るいエネルギーに満ちており、式典、記念講演、分科会、交流会とどれも大変充実した内容でした。特に、山梨県連青年部会の皆様による運営体制は非常にスムーズで、案内の方法、導線設計、時間管理など、来年度の島根大会に直接活かせる点が多く見られました。参加した県連メンバー同士でも、「ここは島根でも取り入れられる」「この演出は参加者に伝わりやすい」といった具体的な意見交換ができ、大変有意義な視察となりました。

また、島根県連として多数のメンバーが参加したことで、県内各单位会同士の横のつながりが一層深まる良い機会にもなりました。夜の交流の時間には、来年度の大会に向けた役割分担や課題認識を共有し、同じ目的に向かって自然と団結力が高まっていくのを強く感じました。「来年は島根が主役となる一年にしよう」「全国の皆様に喜んでいただける大会をつくろう」という想いを参加者全員が共有し、非常に前向きな雰囲気に包まれました。

今回の山梨大会で得た学びや刺激は、必ず来年度の島根大会の成功につながると確信しています。益田法人会としても、県連の一員として責任を持って準備に取り組み、参加者にとって価値ある大会となるよう努めてまいります。

青年部会 部会長 藤原 政志



第41回法人会全国大会「高知大会」

10月16日、高知県立県民文化ホールにおいて、全国約1,600名の法人会代表が参加し第41回法人会全国大会が開催されました。

第1部式典では、来賓祝辞、表彰式において益田法人会は、対前年5社以上で優秀賞、対前年1社以上3年間継続の2部門で表彰されました。改めて組織委員会をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。表彰式に続いて税制改正提言の報告、青年部会による租税教育活動及び健康経営活動について報告がされました。

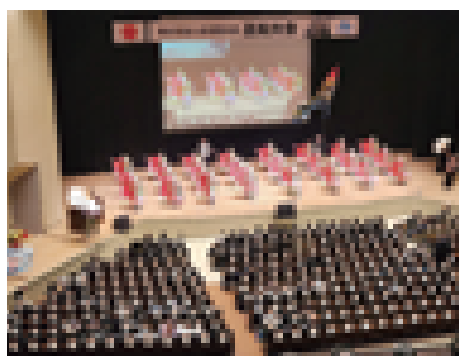
また、大会宣言では、経済を取り巻く環境は急速に変化している。食料などの価格高騰を契機に消費者物価も上昇し、デフレ期からインフレ期への転換期に突入するなど国民生活や産業に大きな影響を与えている。特に中小企業の経営環境は、深刻化する人手不足や継続的な賃上げ等により厳しさが増している状況を踏まえ、地域経済や雇用の担い手である中小企業に対する税財政上のきめ細かな支援の重要性を訴え、「中小企業の活性化に資する税制措置」「事業承継税制の拡充」等の実現を強く求めました。

最後に第42回全国大会（茨城大会）のPRが行われ、式典は幕を閉じました。

第2部記念講演は、株式会社 都築経営研究所 代表取締役 都築 富士男氏による「変化の時代の経営、危機をチャンスに」と題して講話を拝聴しました。

第3部の懇親会は、立食形式で行われ、同席した法人会参加者と交流を深め無事お開きとなりました。

益田法人会 会長 森本 恭史



令和7年度 市民公開講演会

～ 命の授業 ゴルゴ松本氏の公演に773名来場 ～

10月25日(土)グラントワ大ホールにおいて、令和7年度市民公開講演会を行いました。

講師には、お笑い芸人 ゴルゴ松本氏をお招きして講演を頂きました。講演では、様々な漢字や言葉の成り立ちを解説しながら、日頃何気なく使っている言葉や漢字にはいろんな意味が込められていること、命の素晴らしさ、日本語の素晴らしさ、感謝の大切さを伝えるなど漢字の成り立ちを例に、言葉が持つ力と生き方のヒントを教えてくださいました。

ゴルゴ松本氏の魂のこもった熱い授業は、生きる希望と勇気をもらえる感動と笑いの講演会となりました。来場者からは、本当に楽しい講演会でした。「漢字の意味から人生の大切さを知れた」「自分を大切にしたいと思った」、「命の大切さ、他者を思いやる心の大切さについて考える機会になった」などの感想が聞かれ、講演会は大盛況のうちに幕を閉じました。ゴルゴさん、ありがとうございました。

